

保団連夏季セミナー

玉川徹氏の特別講演やジェンダー講義など受講  
女性村長で教育水準が向上



ジェンダー学習会の参加者

初日夕刻から始まった全体会に続いて行われたのが、玉川徹氏の特別講演。この講演の山場!は、

去る8月3〜4日、保団連主催の夏季セミナーに初めて参加した。事務局から何度か打診があった事と、直近4年半東京に行く機会が無かった事が参加の決め手となった。

講演後の質疑応答で、質問者からマイナ保険証という言葉が出た時。氏は「個人的に反対。今年中に衆院総選挙があると言われている。これは命に関わる問題であり、テレビ局全局で取り上げざるを得ない問題。私の番組でも必ず取り上げる」と発言。この瞬間、会場一室がざわめき、千軍万馬の援軍とばかり拍手が沸き上がった。マイナ保険証の問題に関して、皆意を強くした夜となった。

2日目午前は、参加者が4つのシンポジウムから1つを選択し、各々専門から講義を受けるという形で進んだ。私が選んだのは「ジェンダー格差の要因〜実証経済学の視点から」というもの。紙幅の都合で詳細は省くが、ひとつだけ私が最も印象的だった内容をお伝えしたいと思う。

「政治家のロールモデル」という章。男性優位のインド農家の村長選挙で、一部の村に女性村長を割り当てたところ、その村の若い女性の希望する結婚年齢が上がり、高い教育が必要な職種に憧れ、結果、教育水準が上昇し、家事労働時間が減少したという。尚、政策に関して村長の性別による大きな差は無く、この事は「女性は政治家に向いていない」というのは偏見であり、また次世代の女子達に「自分でもできる」という姿を見せる事の重要性を示していると言えらる。

この事を受けて、受講後の質疑応答で「アメリカに女性大統領が誕生したら、日本の若い女性のことか?」と質問したところ、「可能性は大いにあると思う」との事。これを希望にしたいと思う。有能な女性は社会的に重要な地位を占める事、この事が低迷する現在の日本の再生の一助になると信じるからである。女性の皆さん、頼みます!! (豊中市・齋賀史郎)

DON'T BANK ON THE BOMB

近畿反核医師懇談会は、金融機関による核兵器製造企業への融資をやめさせる「Don't Bank on the Bomb」核兵器にお金を貸すな(DBO)キャンペーンを推進するため、8月4〜5日に広島市内でアピール行動に

が中心となって計画。江原豊理事のほか全国の保険医協会、反核医師の会から20人超が参加した。同会は原爆ドーム前や駅頭など広島市内各地で宣伝行動を実施し、「日本のお金を核兵器製造企業に投資してはいけません」と訴えた。

ICANN川崎氏 駅前宣伝に参加 広島駅前での宣伝には、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICANN)国際運営委員の川崎哲氏が参加。「世界では核兵器製造企業への融資を禁止する金融機関が増えて

いる。核なき世界へ一人ひとりの行動が求められている」と強調。DBOBキャンペーン事務局長で医師の松井和夫氏は「金融機関で自分たちのお金の使われ方を尋ね、核兵器に使わないよう思いを伝えてほしい」と運動への参加を訴えた。同会はアピール行動を通じて5000部を超えるDBOBパンフレットを配布。「知人に配りたい」と複数部持ち帰ったり、受け取った市民がSNSで発信したりするなど大きな広がりがあった。

中村理事は「DBOBキャンペーンを被爆地・広島からアピールする画期的な取り組みになった。私たちの運動を受けて日本生命やりそな銀行



などはずでに核兵器製造企業に投資しないことを公表している。今回の宣伝を機にDBOBをさらに進めていきたい」と力を込めた。

平和団体と懇談 DBOBを歓迎 近畿反核医師懇談会は8月3日に広島市の平和団体「核政策を知りたい広島若者有権者の会」(カクワカ広島)、「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」(HANWA)、NPO法人「ANTHirros hima」と懇談した。各団体から「重要な取り組みであり、融資の実態は広島市民もほとんど知らない」「DBOBを知ってもらえばイベントを共同で企画してはどうか」「皆で力を合わせて楽しい運動にしよう」など、キャンペーンを歓迎する声が相次いだ。

核製造企業に投資やめよ 被爆地・広島からアピール

近畿反核医師懇談会は、金融機関による核兵器製造企業への融資をやめさせる「Don't Bank on the Bomb」核兵器にお金を貸すな(DBO)キャンペーンを推進

が中心となって計画。江原豊理事のほか全国の保険医協会、反核医師の会から20人超が参加した。同会は原爆ドーム前や駅頭など広島市内各地で宣伝行動を実施し、「日本のお金を核兵器製造企業に投資してはいけません」と訴えた。

ICANN川崎氏 駅前宣伝に参加 広島駅前での宣伝には、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICANN)国際運営委員の川崎哲氏が参加。「世界では核兵器製造企業への融資を禁止する金融機関が増えて

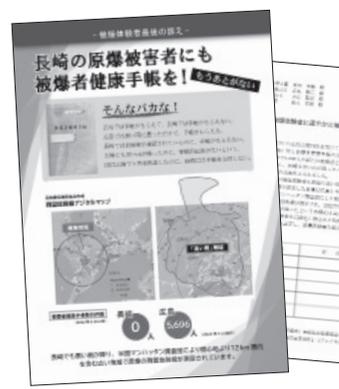
いる。核なき世界へ一人ひとりの行動が求められている」と強調。DBOBキャンペーン事務局長で医師の松井和夫氏は「金融機関で自分たちのお金の使われ方を尋ね、核兵器に使わないよう思いを伝えてほしい」と運動への参加を訴えた。同会はアピール行動を通じて5000部を超えるDBOBパンフレットを配布。「知人に配りたい」と複数部持ち帰ったり、受け取った市民がSNSで発信したりするなど大きな広がりがあった。

中村理事は「DBOBキャンペーンを被爆地・広島からアピールする画期的な取り組みになった。私たちの運動を受けて日本生命やりそな銀行

などはずでに核兵器製造企業に投資しないことを公表している。今回の宣伝を機にDBOBをさらに進めていきたい」と力を込めた。

平和団体と懇談 DBOBを歓迎 近畿反核医師懇談会は8月3日に広島市の平和団体「核政策を知りたい広島若者有権者の会」(カクワカ広島)、「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」(HANWA)、NPO法人「ANTHirros hima」と懇談した。各団体から「重要な取り組みであり、融資の実態は広島市民もほとんど知らない」「DBOBを知ってもらえばイベントを共同で企画してはどうか」「皆で力を合わせて楽しい運動にしよう」など、キャンペーンを歓迎する声が相次いだ。

「長崎の黒い雨体験者にも手帳を」 署名へのお礼



470筆を長崎に送付 長崎の被爆体験者を全員に被爆者健康手帳の交付を求める署名を呼び掛け、1カ月で470筆の署名が集まりました。ご協力、ありがとうございました。署名は長崎県保険医協会に送付しています。

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

協会行事案内

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定をご確認ください



専門家による 無料相談 9月18日(水) 14時〜17時(1時間枠) 9月19日(木) 14時〜16時(30分枠) 10月7日(月) 14時〜16時(30分枠) システム相談 第三土曜日 14時〜17時(1時間枠) ※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

【会員対象】 9月度生涯研修 (無料保育対象) う蝕、歯周病に続く、これから熱い「口腔機能」について 「パタカラ体操」と「滑舌検査」の両機能を持つスマホアプリの開発がわかったこと、 日時 9月8日(日) 午前10時〜午後1時 会場 M&Dホール 講師 十河基文氏(大阪大学大学院歯学研究所ID推進センター特任教授・招聘教授) 会費 3千円 定員 80人

【会員・スタッフ対象】 大阪市北部・東部地区講習会 難解2024診療報酬改定・ポイント解説 口腔機能管理(小児・高齢)、初期・根面う蝕管理、P重防・SPT 日時 9月14日(土) 午後6時30分〜8時30分 会場 M&Dホール(保険医会館東隣り) 講師 社保研究部講師団 持参物 『歯科保険診療の研究2024年6月版』 会費 会員・スタッフ無料、未入会勤務医1万円 定員 80人

【スタッフ対象】 チェアサイド講習会 シャーピングセミナー 日時 9月15日(日) 午前9時30分〜午後0時30分 会場 保険医会館5階 講師 臨床学術部講師団 会費 5千円/1人 定員 15人 ※1医院につき2人まで ※『正確なシャーピング安全なスケーラー操作』(定価4070円)をテキストとして使用します。院所で一冊購入をご検討ください。

【会員対象】 北大阪地区会員交流会 糖尿病と歯周病に関する最近の知見 日時 10月19日(土) 午後3時30分〜5時30分 会場 江坂・サニーストンホテル 講師 西村英紀氏(九州大学大学院歯学研究所院長・歯学部長・歯学部部長・歯周病学教授) 会費 無料 定員 50人

【会員対象】 10月度生涯研修(無料保育対象) 歯周外科治療を日常診療に取り込む(仮) 日時 10月20日(日) 午前10時〜午後1時 会場 M&Dホール 講師 高橋慶壮氏(奥羽大学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野教授) 会費 3千円 定員 80人